

※入札公告を必ず確認してください。(海老名市ホームページに掲載しています)

入札案件概要書 (工事)

契約番号 : 8164

件 名	本庁舎増築棟建設準備工事	
履行場所	海老名市勝瀬 1 7 5 番地の 1	
工 期	令和 8 年 11 月 24 日～令和 9 年 2 月 26 日 (95 日)	
工事の内容等	別紙 仕様書等 のとおり ○週休2日制確保工事(現場閉所)の対象案件	
予定価格	24, 596, 000 円 (税込)	22, 360, 000 円 (税抜)
最低制限価格	有り (開札後算定型) 詳細は海老名市最低制限価格等取扱基準及び入札説明書等を参照してください。	
落札候補者の入札金額が、調査基準価格 (70%) 未満の場合 ※ただし、予定価格 (税込) 100 万円以下の案件は除く。	低入札履行確認調査を実施します。詳細は低入札による履行確認調査取扱基準を参照してください。 契約締結にあたっての制限等 ○ 技術者と現場代理人の兼務不可 ※前年度の工事評定平均が「B (75 点)」以上である場合は除く。 ○ 技術者及び現場代理人の他案件 (本市入札案件) との兼任不可 ※技術者等の兼任制限が解除されている場合でも不可 ○ 前払金の制限 (金額上限、中間前払金の制限など) 契約金額の 20%以内 (海老名市契約規則により、前払金が適用となる場合に限ります。) ※前払金の上限金額は 5, 000 万円以下。中間前払金の支払いはありません。 契約保証 契約金額の 30%以上に相当する次のいずれかの手続きが必要です。 ※現金納付及び実績による免除はありません。 (ア) 金融機関又は保証事業会社の保証 (イ) 公共工事履行保証証券による保証 (履行ボンド) (ウ) 履行保証保険契約の締結 (定額てん補)	
入札方法等	条件付一般競争入札 (電子入札)	
質疑 (仕様等に関する事項)	所定の書式により、FAX で受け付けます。 電子入札システムの機能は使用しないでください。	

参 加 条 件	営業種目	290 解体 経審 - 点以上 - 点未満	○下請契約の請負代金の合計の額が5千万円 (建築一式工事の場合は8千万円) 以上となる場合には特定建設業の許可が必要です。 併せて、主任技術者に代えて監理技術者を配置すること。
	発注区分 詳細は入札公告で確認してください。	第 4 区分	第 1・第 2 区分の入札に初めて参加する場合は、営業実態調査票及び認定書の写しを提出してください。
	その他の要件	告示日現在で社会保険 (健康保険、厚生年金保険及び雇用保険) に加入していること。 ※法令に基づき社会保険適用を除外されている場合を除く	
	落札件数制限	なし	
配置技術者等の兼任について		本案件に配置する主任 (監理) 技術者及び現場代理人は、工事・コンサル・一般委託の区分を問わず同じ開札日の他の案件に配置できません。	
事前提出書類 (システム添付)		参加資格確認申請時に次のファイルを添付してください。 ファイルは一つにまとめてください。 ○告示日現在で社会保険 (健康保険、厚生年金保険及び雇用保険) に加入していることを証する書類の写し。(次の (1) ～ (3) のいずれか) (1) 経営規模等評価結果通知書・総合評定値通知書 (経営事項審査) の写し	

	<u>※経営事項審査の有効期限内の通知書を提出していれば提出不要</u> (2) <u>(同通知書発行後に社会保険に加入した場合)</u> 健康保険、厚生年金保険及び労働（雇用）保険料の領収書の写し (3) <u>(法令に基づき社会保険適用を除外されている場合)</u> 健康保険、厚生年金保険及び雇用保険の加入義務がないことの届出書
入札時提出 (システム添付)	○入札金額積算内訳書 別添のエクセルファイル「入札金額積算内訳書(工事入札時システム添付)」をダウンロードして使用してください。<u>システムへはPDF化して添付してください。</u>
落札候補者が提出する書類 (FAX046-232-6574)	開札後、落札候補者は次の書類を F A X で提出してください。 (落札候補者決定の翌開庁日午前 10 時まで。詳細は開札後 FAX で通知します。) ○配置技術者等に関する書類 ○建設業許可の確認できる書類

本庁舎増築棟建設準備工事

内容説明事項書

海 老 名 市

1. 工 事 名 称 本庁舎増築棟建設準備工事
2. 工 事 場 所 海老名市勝瀬 1 7 5 番地の 1
3. 工 事 概 要 海老名市本庁舎増築棟建設に伴い、公用車駐車場の車庫解体などを行うもの。
 ■ 工事内容
 ・ 公用車車庫解体及び一部駐輪場解体
 ・ 公用車駐車場7スファルト舗装 撤去
 ・ その他上記に伴う関連工事一式
4. 工 事 期 間 令和8年11月24日 から 令和9年2月26日 まで
5. 設 計 図 書 上記諸条件に依る見積に必要な図書は下記とする
 (1) 設 計 図 10 枚
 (2) 内容説明事項書(本書・環境配慮マニュアル) 5 枚
6. 数 量 書 (1) 数 量 書 10 枚
 ※数量書は、発注者の積算の透明性、客観性、妥当性を確保し、入札参加者等の積算、工事費内訳書作成の効率化を図ることを目的に参考数量として公表するものである。
7. 法 令 の 遵 守 本工事の実施に当たり、建築基準法、消防法、その他各関係法令・規則等を確実に遵守すること。
8. 官 公 署 手 続 官公署手続きは、全て受注者の責任と負担に於いて行うこと
9. その他の事項

項 目	適 用	内 容	備 考
(1)事業区分			
①事業区分	☐ 補助事業 ☒ 市単事業		
(2)工事監理体制			
②工事監理体制	☒ 市担当者 ☐ 外部委託者		
(3)工程関係			
①週休二日制	☒ 対 象 ☐ 対 象 外	☒ 現場閉所による週休2日制確保工事 ☐ 交代制による週休2日制確保工事	
②工期内施設利用	☒ 有 ☐ 無		安全対策を施し、各関係者の安全確保を図ること
③関連工事、その他工事	☒ 有 ☐ 無	同時期に備考欄の工事が施工される予定のため、仮設計画などに留意すること	・ 本庁舎 5 階電算機械室空気調和気(AC-2)更新工事 ・ 本庁舎便所洋式化改修工事
④施工時期の制限	☐ 有 ☒ 無		土曜日、日曜日は原則休工とする
⑤施工時間の制限	☐ 有 ☒ 無		施設運営に支障のないよう留意すること
⑥協議未成立事項	☒ 有 ☐ 無	本庁舎増築棟建設に伴い敷地測量を行っているため、測量結果を受けて、7スファルト撤去範囲などは監督員と協議するものとする。	

項 目	適 用	内 容 等	備 考
(4) 仮設関係			
①仮設計画	■ 有 □ 無	図示 (仮設計画図による)	受注者において、発注図の仮設計画図を参考に作成し、事前に施設管理者及び市担当者等の承諾を受けること
②交通誘導員	■ 有 □ 無		
③工事用電力、 水の利用	□ 有 ■ 無	受注者対応	
④濁水・湧水処理における特別な対策等	□ 有 ■ 無		
(5) 支給品			
①支給品について	□ 有 ■ 無		
(6) 建設副産物関係			
①建設発生土	□ 有 ■ 無		
②建設副産物 建設廃棄物	■ 有 □ 無		
③その他 (特別産業廃棄物等)	□ 有 ■ 無		
(7) 各種調査、使用制限			
①各種調査	■ 有 □ 無	特記仕様書による	
②使用制限 関係法令、規則等を遵守するのは当然のこと右記事項にも配慮すること	■ 有 □ 無	揮発性有機化合物等	本工事に使用する材料は、揮発性有機化合物等の放散しないもの又は放散量の少ないものを使用すること (F☆☆☆☆使用)
(8) 現場対応			
①現場照査等	事前調査を十分に行い、不明確な部分は工事打合簿により施工前に市監督員と協議し、確認をとること		
②公衆災害	本工事における振動・騒音・粉塵・悪臭等については、特に注意し、付近住民とのトラブルについては、受注者の責任において解決すること		
③原形復旧	工事範囲内の備品類の移動及び養生、清掃については、受注者の責任において実施し、工事後は原形に復すること		
(9) その他			
①適用基準等 (海老名市ホームページ)	■ 「海老名市公共工事共通事項書」による ■ 「海老名市公共建築工事積算要領」による ■ 「海老名市公共建築工事積算要領の運用（令和８年９月改定）」による □		
②工事完成図書	■ 海老名市ホームページ検査担当からのお知らせ 「18 工事関係様式」内、工事提出書類チェックリストによる ■ 海老名市ホームページ営繕課担当事務 「海老名市営繕工事 工事提出書類作成等の手引き」による		
③海老名環境マネジメントシステム	市では、海老名環境マネジメントシステムの運用に伴い、「公共工事環境配慮マニュアル」が適用となった。よって本工事では、その環境配慮マニュアルに基づき別紙の項目で対象となる作業について環境配慮に努めること		
④法定外の労災保険の加入	本工事において、受注者は法定外労働災害補償制度（法定外の労災保険）に加入すること。また、受注者は保険契約を締結したときは、発注者にその証券等を提示すること		

 公共工事において配慮すべき環境要素

海老名市の公共工事において配慮の対象とすべき環境要素は、以下の一覧表のとおりとする。これらの環境要素は、工事施工過程の環境負荷の低減はもとより、公共工事の成果として地域及び地球環境に有益な影響が得られるためには不可欠なものである。

環境要素一覧表

大分類	中分類	小分類
1 地域の自然環境・景観	(1)緑	①自然林、草原など面的な広がりを持つ緑 ②堤防、土手、法面、並木などの樹林帯又は草原など線的な連続性を持つ緑
	(2)地形・地質	その場所本来の地形・地質とそれに依拠する生態系
	(3)水辺	河川や水路などとその堤敷及びそれに依拠する生態系
	(4)動植物	現にその土地に生息するか、又は最近まで生息していた動植物
	(5)歴史的遺産	①地表に存在する文化財、遺跡等 ②埋蔵文化財
	(6)景観	①その土地の現在の景観 ②その土地に現在ある眺望地点とそこからの景観 ③道路等、都市基盤施設がもたらす景観
2 地球環境	(1)資源	①石油類・金属・水・岩石等の鉱物資源 ②木材等の森林資源
	(2)大気	①公園、屋外体育施設又は工事などで発生する砂塵による迷惑を考慮すべき局地的な大気環境 ②自動車の排ガス、ごみ焼却施設からのダイオキシン等による汚染を考慮すべき地域的な大気環境 ③フロンガス、二酸化炭素等の放出による影響を考慮すべき地球規模の大気環境
	(3)水質	①公園、屋外体育施設、駐車場などの排水の影響を受ける水系 ②土地の改変等による濁水等の影響を受ける水系 ③土木工事により影響を受ける地下水
	(4)土壌	畑、水田、砂利道等のほか舗装されていない剥き出しの地面
	(5)建設副産物	①排出土 ②コンクリートガラ ③アスファルトガラ ④伐採材 ⑤まだ使用可能な製品 ⑥鉄骨・鉄筋・その他の金属類の切りくず ⑦不要木材 ⑧PCB等の毒性物質 ⑨その他の建設廃材
	(6)熱帯林	コンクリート型枠などに使用され、減少を続ける熱帯林資源
3 生活環境	(1)騒音	①工事作業機械の稼働による騒音 ②工事用車両走行による騒音 ③公園、野球場、陸上競技場等屋外体育施設での騒音 ④施設の空調機等電気・機械設備の騒音
	(2)振動	①工事作業機械の稼働による振動 ②工事用車両走行による振動
	(3)悪臭	しゅんせつ土等の悪臭
	(4)電波障害	大規模建築物による電波受信状態への影響
	(5)日照障害	大規模建築物による日影時間への影響
	(6)地域生活環境	①公園、野球場、陸上競技場等屋外体育施設又は他の施設等の夜間照明により影響を受ける周辺住民の生活環境 ②道路整備におけるルート又は道路構造による地域分断 ③歩道若しくは道路横断施設又はその他の公共施設等における高齢者・障害者の安全な通行・歩行環境 ④大規模建築物の駐車場等への出入り車両により影響を受ける交通の安全性 ⑤工事車両の出入りにより影響を受ける交通の安全性

☐ 設計・施工時に配慮する事項

5. 建物解体工事

作業	配慮事項	環境要素
工事全体	周辺住民の生活環境への影響を考慮し、騒音・振動の発生を最小限に抑える。	3-(1)-①② 3-(2)-①②
廃棄物	材種別に分別収集し、リサイクルできるものは必ず再生プラントへ搬入する。	2-(5)-①～⑨
	廃棄物の適正処理（マニフェスト管理）	2-(5)-①～⑨
	アスベスト、フロン、P C Bの適切な管理・処分を行う。	2-(5)-⑧
	砂塵などの飛散防止のため散水養生を行う。	2-(2)-①
工事作業機械・車両運行	低騒音・低振動型作業機械を使用する。	3-(1)-①
	排ガス規制に適合した作業機械・車両（ディーゼルエンジン）を使用する。	2-(2)-②
	周辺住民の生活を妨げないように作業時間帯を設定する。	3-(1)-①② 3-(2)-①② 3-(6)-⑤
	道路以外の場所に作業機械搬入車両、ダンプトラック等の待機場所を確保する。	3-(6)-⑤
	工事用作業機械・車両の待機中はアイドリングをしない。	2-(2)-② 3-(1)-①

☐ 設計・施工時に配慮する事項

6. 機械設備工事

作業	配慮事項	環境要素
機械設備	低騒音・省エネ型のものを採用する。	2-(1)-① 2-(2)-③ 3-(1)-④
掘 削	排出土の発生を抑える設計を行う。	2-(5)-①
	周辺住民の生活環境への影響を考慮し、騒音・振動の発生を最小限に抑える。	3-(1)-①② 3-(2)-①②
排出土処理	極力現場内での利用を図る。	2-(5)-①
	搬出する場合は他の市内工事で有効利用を図る。	2-(5)-①
	排出土中に他の廃棄物が混入しないよう分別する。	2-(5)-①
埋め戻し	現場内排出土及び再生砕石を使用する。	2-(5)-①②③
排出物	材種別に分別収集し、リサイクルできるものは必ず再生プラントへ搬入する。	2-(5)-①～⑨
	廃棄物の適正処理（マニフェスト管理）	2-(5)-①～⑨
	フロン等の適切な管理・処分を行う。	2-(2)-③
工事作業機械・車両運行	低騒音・低振動型作業機械を使用する。	3-(1)-①
	排ガス規制に適合した作業機械・車両（ディーゼルエンジン）を使用する。	2-(2)-②
	周辺住民の生活を妨げないように作業時間帯を設定する。	3-(1)-①② 3-(2)-①② 3-(6)-⑤
	道路以外の場所に作業機械搬入車両、ダンプトラック等の待機場所を確保する。	3-(6)-⑤
	工事用作業機械・車両の待機中はアイドリングをしない。	2-(2)-② 3-(1)-①

令和8年度

数 量 書

工 事 名 称 本庁舎増築棟建設準備工事

工 事 場 所 海老名市勝瀬 1 7 5 番地の 1

工 期 令和8年11月24日から令和9年2月26日まで

工 事 概 要 海老名市本庁舎増築棟建設に伴い、公用車駐車場の車庫解体などを行うもの。

■ 工事内容

- ・ 公用車車庫解体及び一部駐輪場解体
- ・ 公用車駐車場アスファルト舗装 撤去
- ・ その他上記に伴う関連工事一式

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
本庁舎増築棟建設準備工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

[illegible]

本庁舎増築棟建設準備工事 細目別内訳

5

直接工事費A		直接仮設費				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
建物解体養生 (公用車車庫)	単管、防音シート H5.4m	173	m ²			
建物解体養生 (駐輪場)	単管、防音シート H3.6m	87.1	m ²			
とりこわし機械 運転(ヘースマシン)	バックホリ 排出ガス対策型 油圧式クローラ型 0.5m3	5	運転日			
とりこわし機械 運搬 (ヘースマシン、バックホリ)	排出ガス対策型 油圧式クローラ型0.5m3	1	往復			
バックホリ運転	バックホリ 0.13m3 排出ガス対策型 油圧式クローラ型	10	日			
とりこわし機械 運搬 (ヘースマシン、バックホリ)	排出ガス対策型 油圧式クローラ型0.13m3	1	往復			
計						

本庁舎増築棟建設準備工事 細目別内訳

直接工事費A		その他関連工事費				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VU)	地中配管 350A	80	m			
雨水ため桝	600角(～1250H) 防臭ふた 耐荷重T-20	4	組			
既存雨水ため桝 改修	配管孔350φ閉塞及び新設	4	か所			
根切り(機械)	バックホリ 0.13m3 排出ガス対策型 油圧式クローラ型	144	m3			
埋戻し(A種)	山砂の類	45	m3			
埋戻し(B種)	発生土	99	m3			
アスファルト復旧	仮舗装 t 30	76.4	m ²			
側溝切断部コンクリート 塞ぎ	150×550×350 ×2カ所 差筋共	2	か所			
アスファルト撤去 後不陸調整		1,544	m ²			
区画線変更	区画線削除_抹消機(矢印) 2カ所 停止線 5m 基本料、墨出し込	1	式			
駐輪ラック	前輪差込み式 CS-G型 ヘースプレート仕様	15	台			
(バイク置き場)						
アスファルト舗装	A-5-10 再生密粒 再生クラッシュヤラン 特に狭い場所 人力	27	m ²			
バリカー	L2000 ステンレス	5	か所			
バリカーサインプレート	L2000 両面サイン	1	か所			

[illegible]

本庁舎増築棟建設準備工事 細目別内訳

[illegible]

本庁舎増築棟建設準備工事 細目別内訳

7

直接工事費B		工作物除却工事費		工作物等除却工事費		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
(コンテナ倉庫)						
コンテナ倉庫撤去	2.4m×6.3m 基礎共 電気照明・配線共	2	か所			
ケーブル撤去	埋設・架空配線とも	103	m			
高所作業車		1	日			
(外構)						
アスファルト舗装カッター入れ	t 50	341	m			
アスファルト舗装撤去	t-50 表層のみ 撤去集積	1,585	m ²			
コンクリート舗装	t-150 鉄筋切断共 コンクリートブレーカ 集積共	20.3	m ²			
U字側溝撤去 グレーチング共	内寸 W250 撤去集積	72	m			
U字側溝カッター入れ		2	か所			
U字側溝撤去 グレーチング共	内寸 W200 撤去集積	15	m			
緑石	撤去集積	71	m			
車止め	撤去集積	74	個			
伐採抜根	幹周40～60cm未満 機械併用	7	本			
伐採抜根	幹周15cm未満 人力	12	本			

本庁舎増築棟建設準備工事 細目別内訳

直接工事費B		工作物除却工事費		工作物等除却工事費		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
(雨水配管撤去)						
根切り(機械)	バックホウ 0.13m3 排出ガス対策型 油圧式クローラ型	171	m3			
埋戻し	機 械 バックホウ 0.13m3 排出ガス対策型 油圧式クローラ型	171	m3			
雨水管撤去	350φ	95	m			
雨水枡撤去	ため枡 600角 H1200程度	7	か所			
(電気自動車充電 まわり)						
電柱ポール撤去	基礎400角程度共	2	本			
ケーブル撤去	配管共	36	m			
(バイク置き場)						
アスファルト舗装カッター入れ	t 50	24	m			
アスファルト舗装撤去	t-50 表層のみ 撤去集積	27	m ²			
ステンレスベンチ 撤去		1	式			
計						

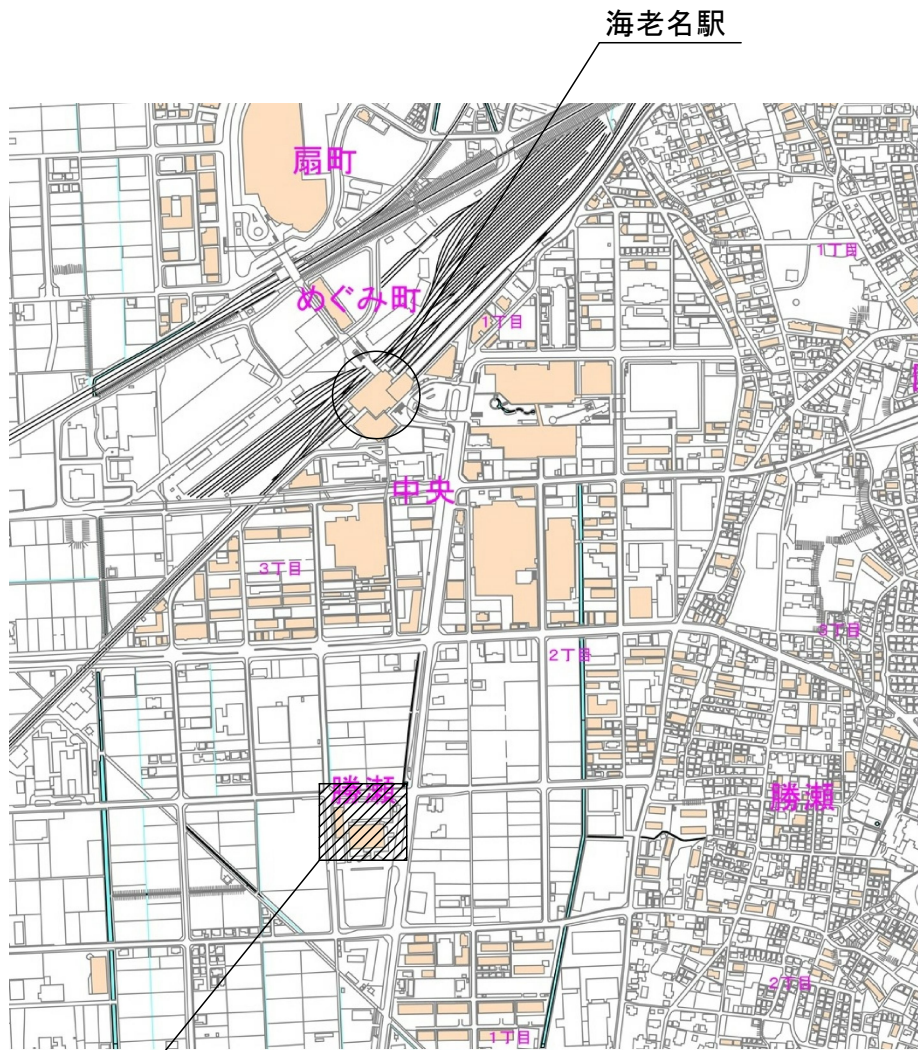
発生材処分費		発生材処分費		発生材処分費		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
撤去材運搬	ダンプトラック 4t積級 バックホり0.28m3 コンクリート類 DID区間有り 4.5km以下	110	t			
撤去材運搬	ダンプトラック 4t積級 バックホり0.28m3 アスファルト混合物 DID区間有り 4.5km以下	189	t			
撤去材運搬	ダンプトラック 4t積級 バックホり0.28m3 混合廃棄物 DID区間有り 4.5km以下	8.5	m3			
撤去材運搬	ダンプトラック 4t積級 バックホり0.28m3 金属くず DID区間有り 4.5km以下	15.1	m3			
撤去材運搬	ダンプトラック 4t積級 バックホり0.28m3 木材類 DID区間有り 4.5km以下	24.4	m3			
発生材処分費	コンクリート塊（有筋）	110	t			
発生材処分費	アスファルト混合物	189	t			
発生材処分費	混合廃棄物	8.5	m3			
発生材処分費	金属くず	15.1	m3			
発生材処分費	木くず	24.4	m3			
計						

[illegible]

本庁舎増築棟建設準備工事

図面リスト

図面番号	図面名称	A3
-	図面リスト	N. S
1	特記仕様書1	N. S
2	特記仕様書2	N. S
3	案内図・配置図	N. S
4	公用車駐車場外構平面図（撤去図）	1/200
5	公用車駐車場外構平面図（改修図）	1/200
6	（参考）撤去建物図1 公用車車庫 平面図・立面図	1/100
7	（参考）撤去建物図2 公用車車庫 断面図	1/20・30
8	（参考）撤去駐輪場詳細図・外構部分詳細図	N. S
9	（参考）仮設計画図	1/200



海老名駅

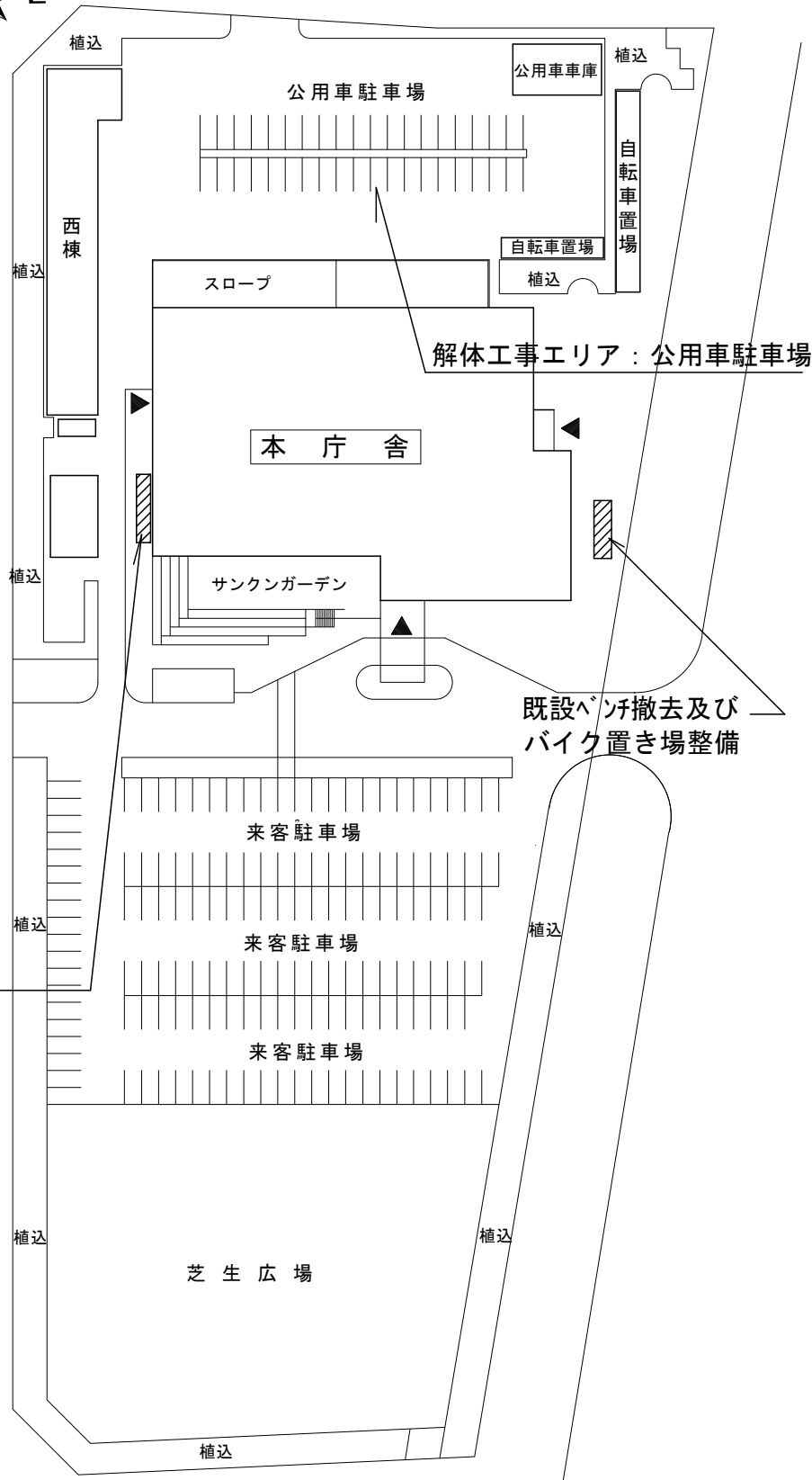
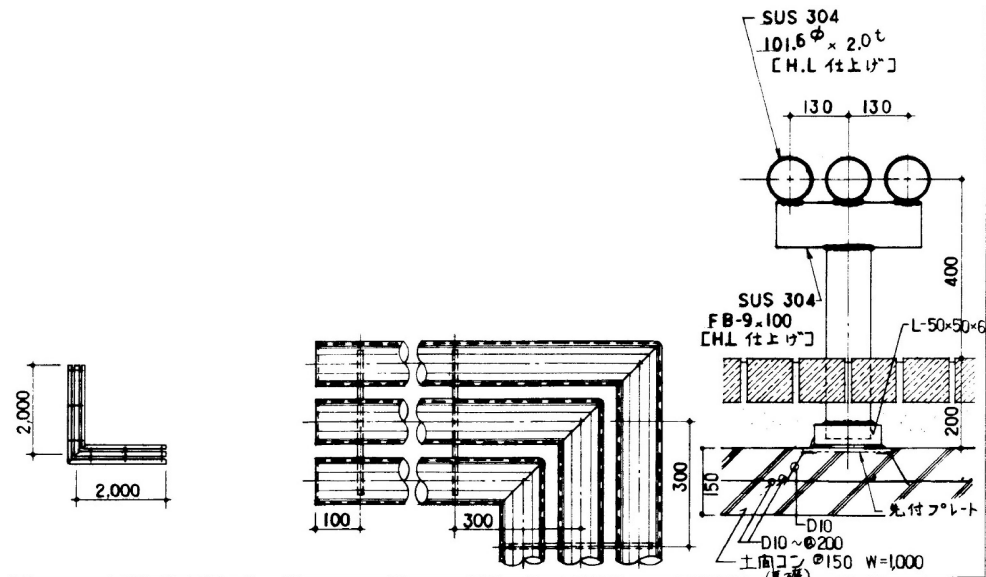


住所：海老名市勝瀬 1 7 5 番地の 1

案内図

置き型駐輪ラック15台 新設
ベースプレートタイプとし、
アンカー固定が必要ないものとする

既設ベンチ 詳細図（撤去）

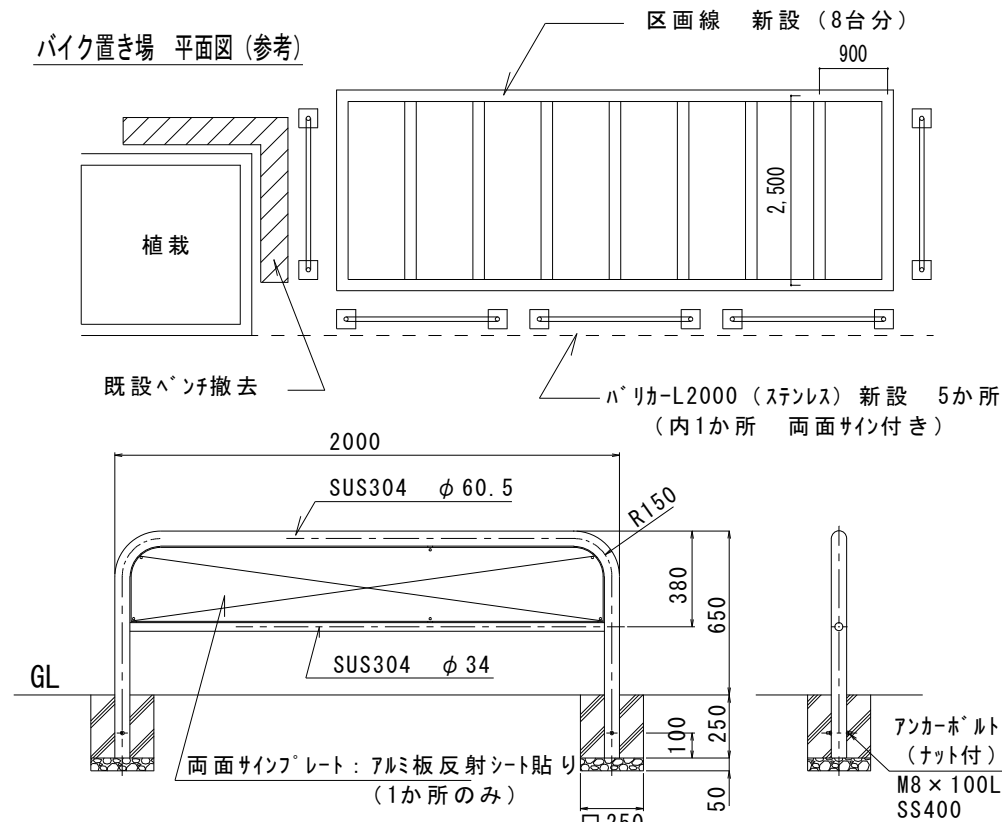


配置図

バイク置き場整備 詳細図（参考）

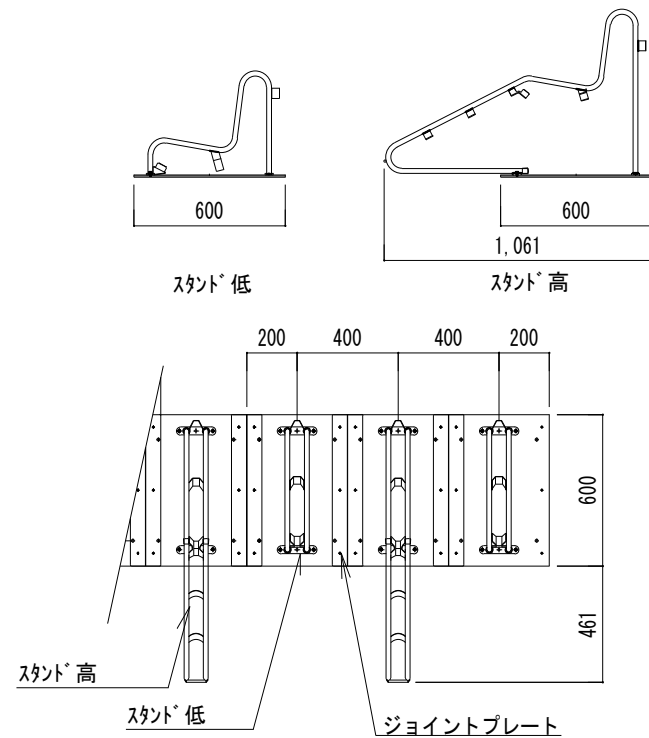
※改修範囲：アスファルトカッター入れ及びアスファルト舗装撤去、新設（27㎡）

バイク置き場 平面図（参考）



バリカー詳細図（参考）

駐輪ラック 詳細図（参考）



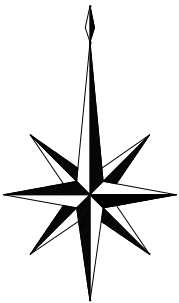
スタンド台数：15台分連結

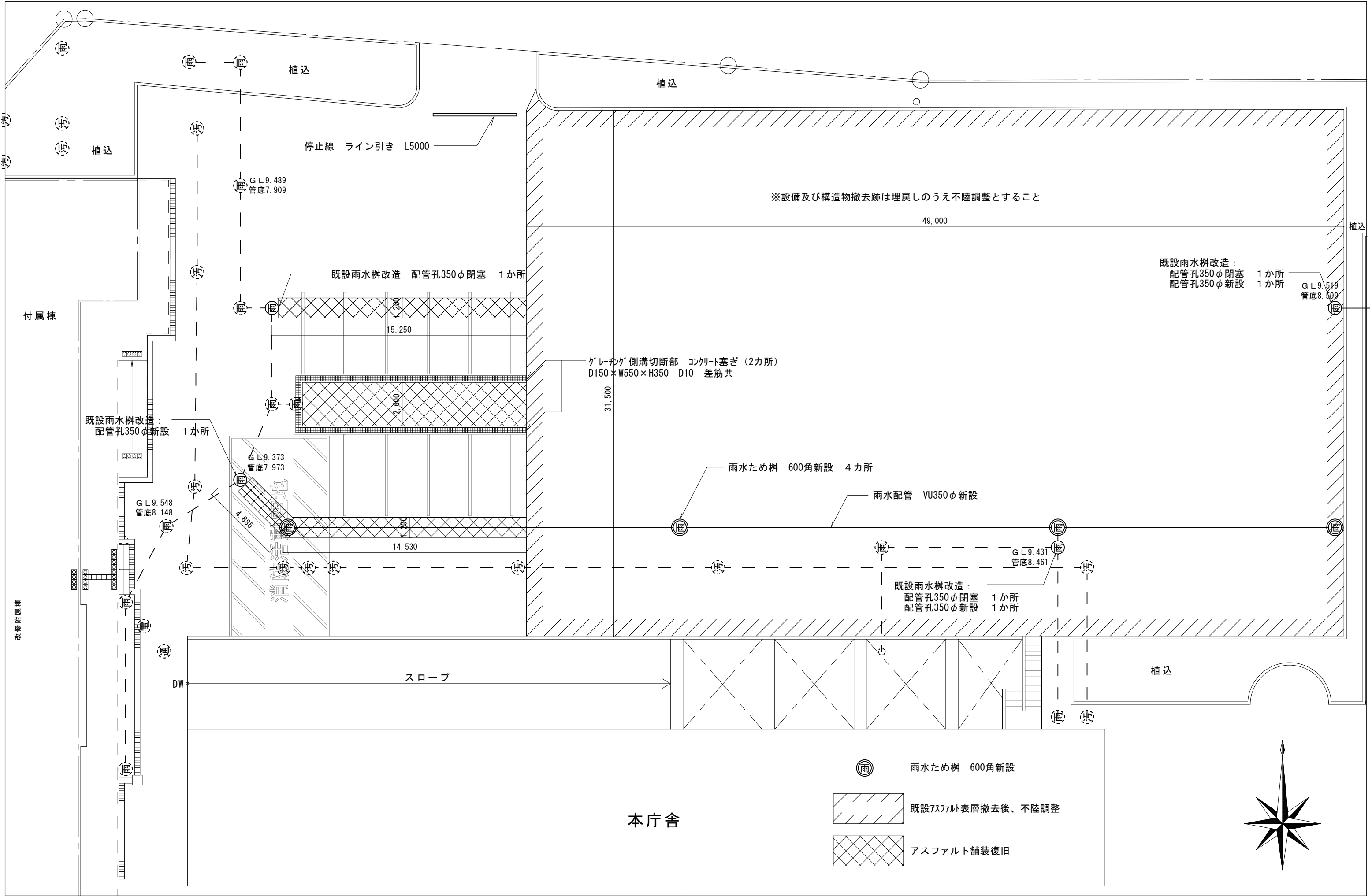
参考型番：(株)ダイケン 前輪差し込み式サイクルスタンド GS-G型（ベースプレート仕様）

海老名市
Ebina City



図面名称	案内図・配置図	図面番号
縮尺	N.S	3
件名	本庁舎増築棟建設準備工事	



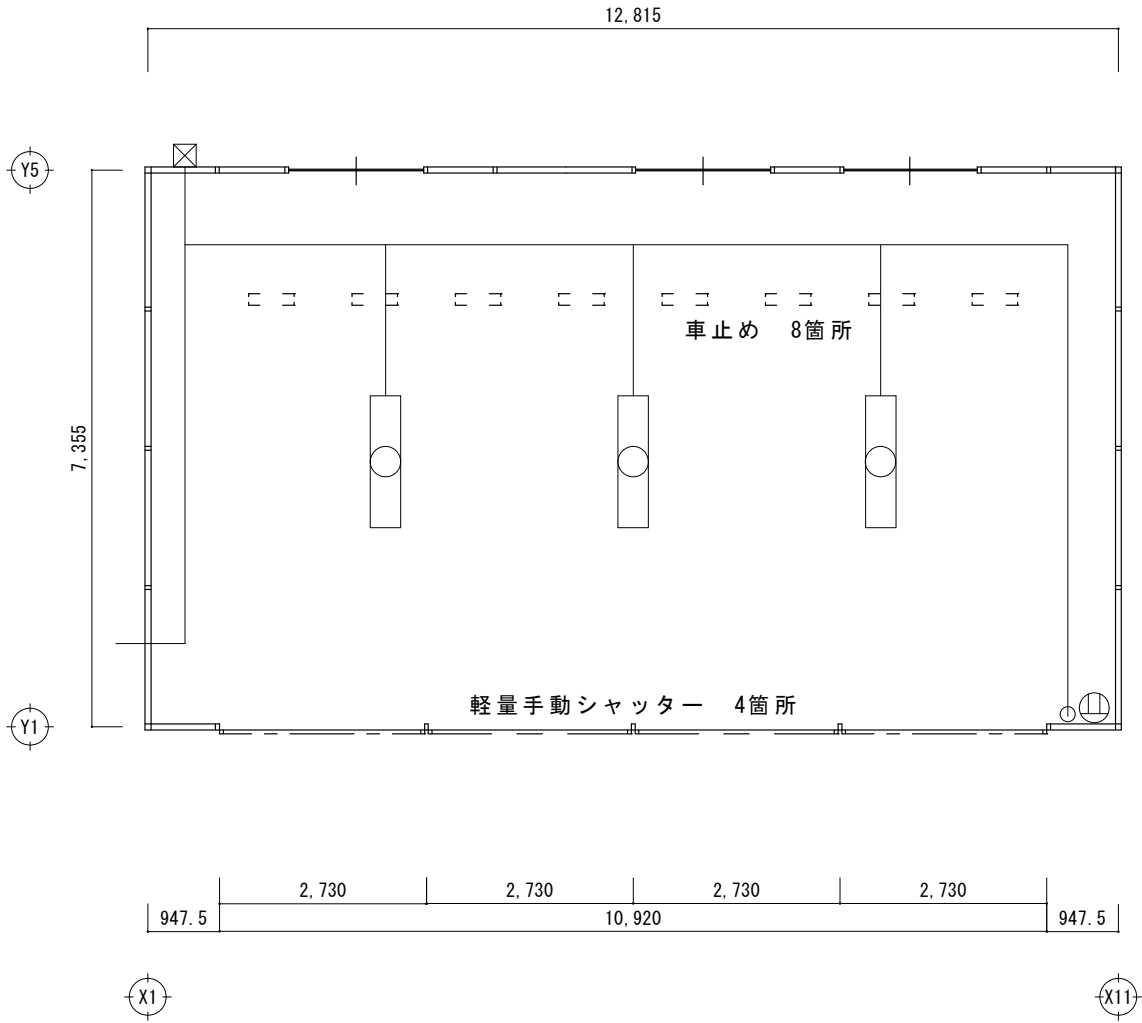


建物概要

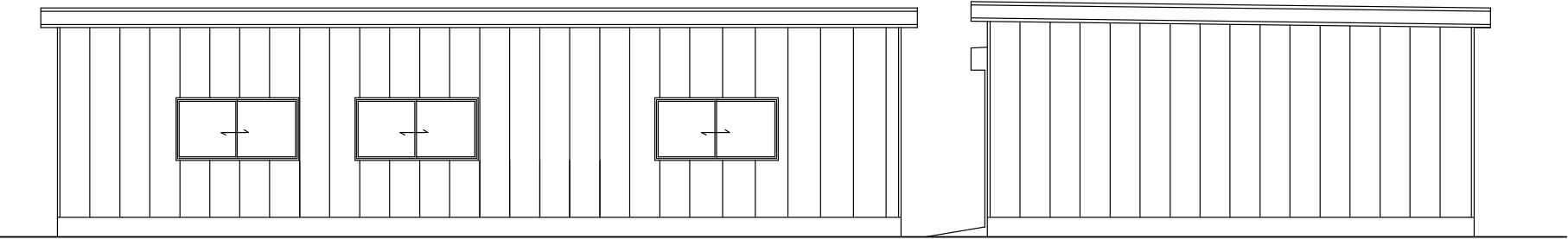
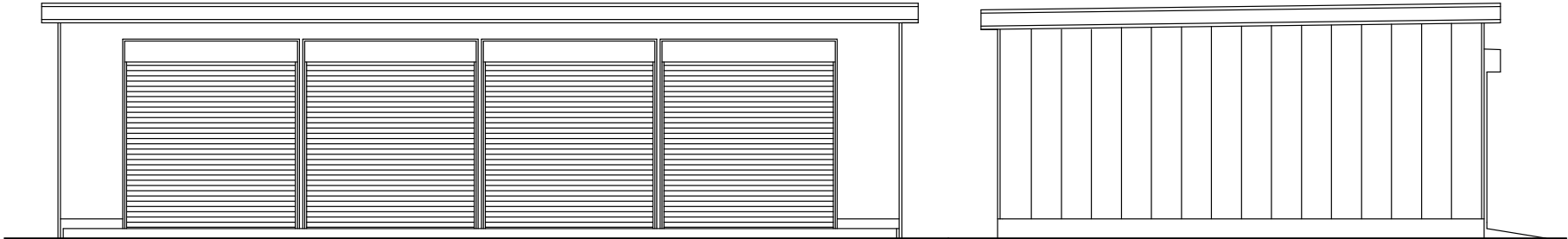
構 造	軽量鉄骨造（ブレース造）平屋造り
基 礎	鉄筋コンクリート布基礎
屋 根	長尺カラー鉄板折板葺 ア)0.6 H=88 、不燃断熱材裏張、破風板：カラー鉄板 H=300
樋	軒樋塩ビ製120角、縦樋塩ビ製：75φ
軒 裏	折板現し
外 壁	防火サイディング ア)12 現場施工
建 具	アルミサッシ引違い窓 3箇所
シャッター	軽量鉄骨シャッター 4箇所

内部仕上表

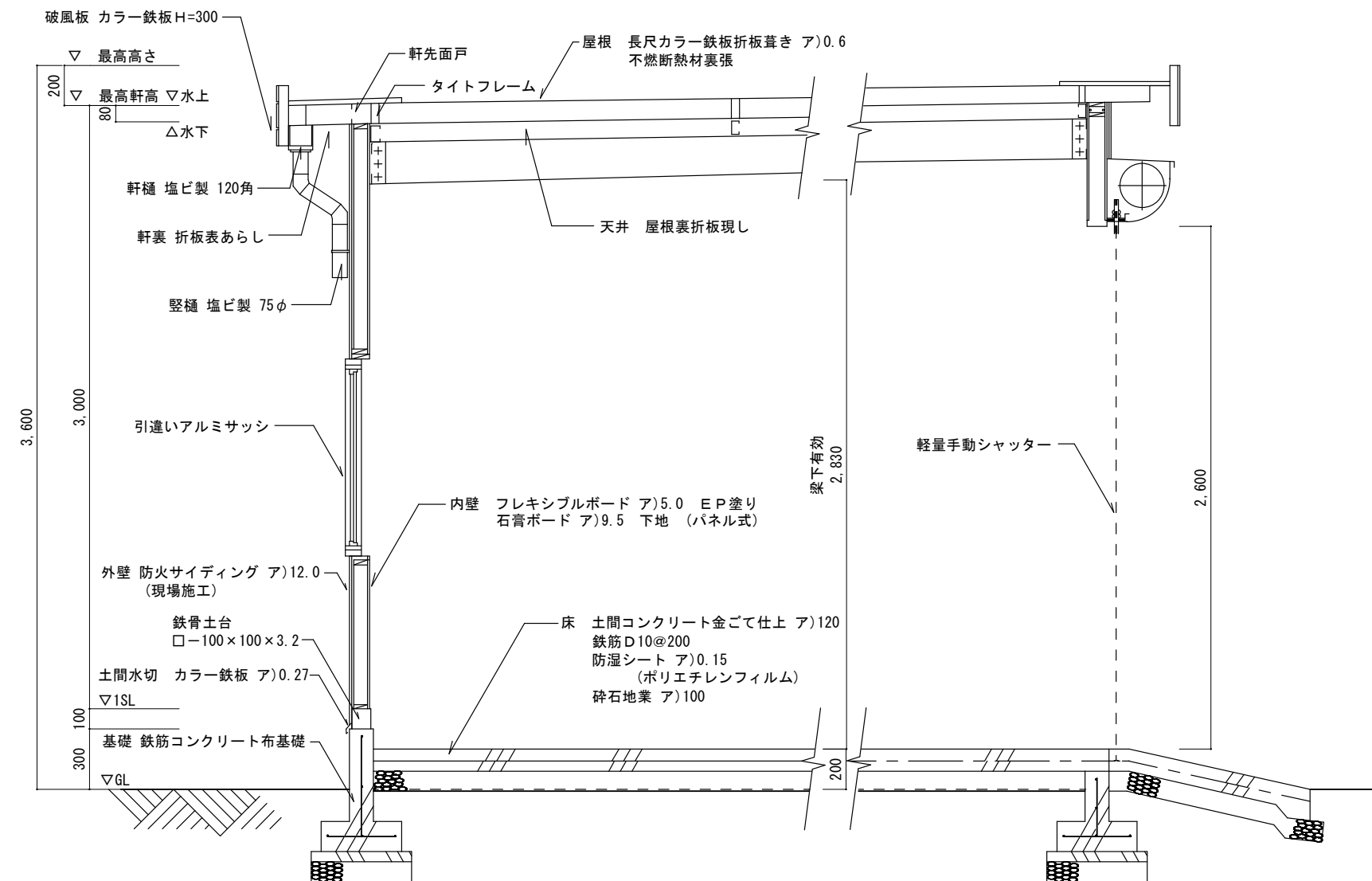
階	部屋名	床	巾木	内壁	天井
1	車 庫	土間コンクリート金ゴテ仕上 ア)120 鉄筋 D10 @250、 防湿シート ア)0.15 砕石地業 ア)100	基礎内側現し	フレキシブルボード ア)5 EP塗装 石膏ボード ア)9.5下地 (パネル式)	屋根裏折板現し



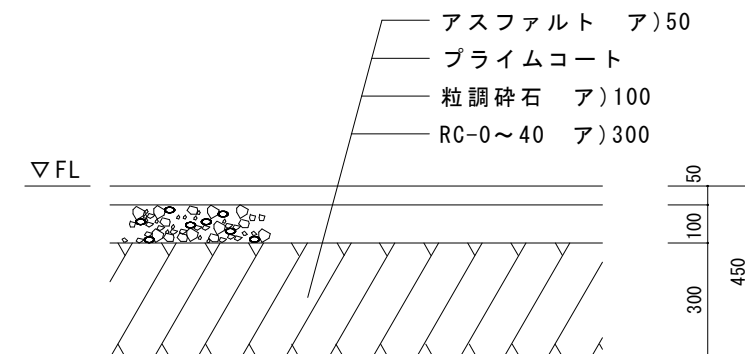
平面図 1 : 1 0 0



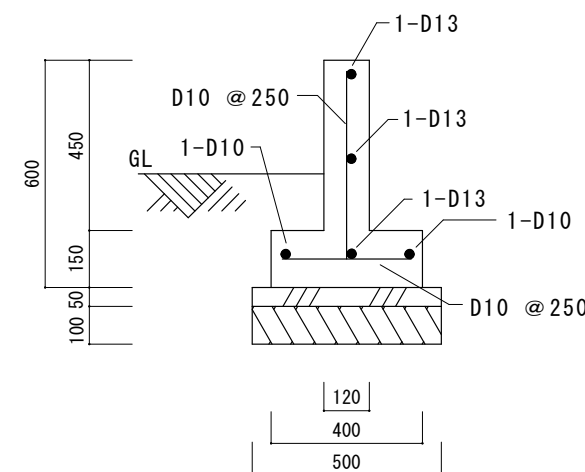
参考



断面詳細図 1 : 3 0



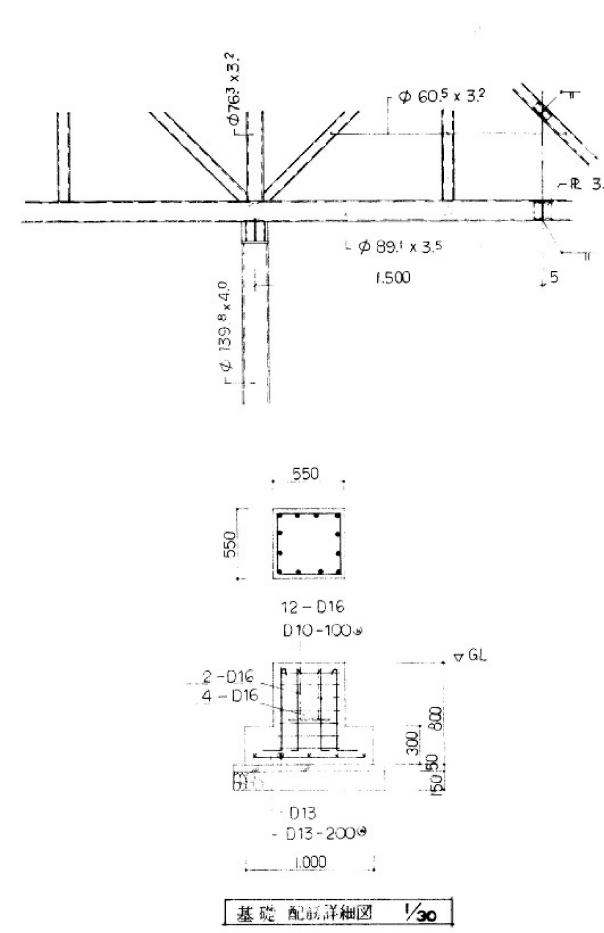
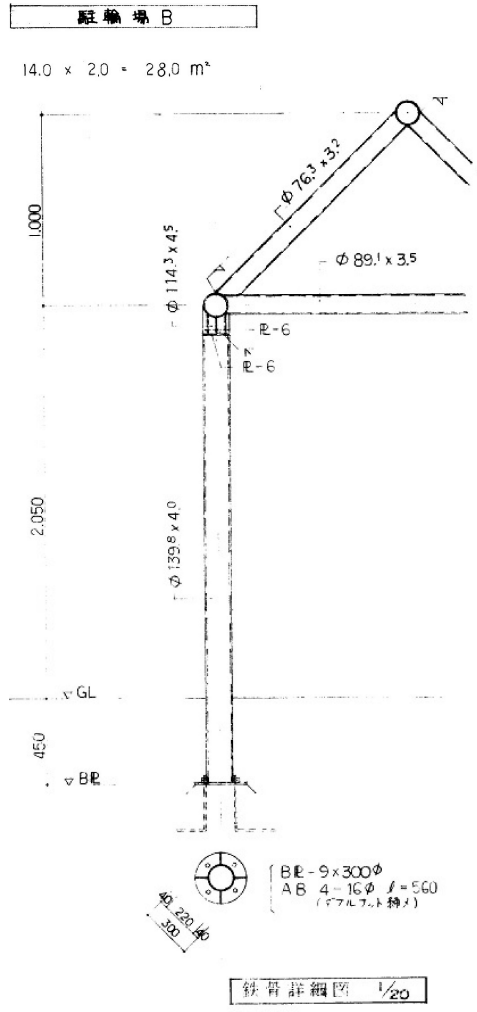
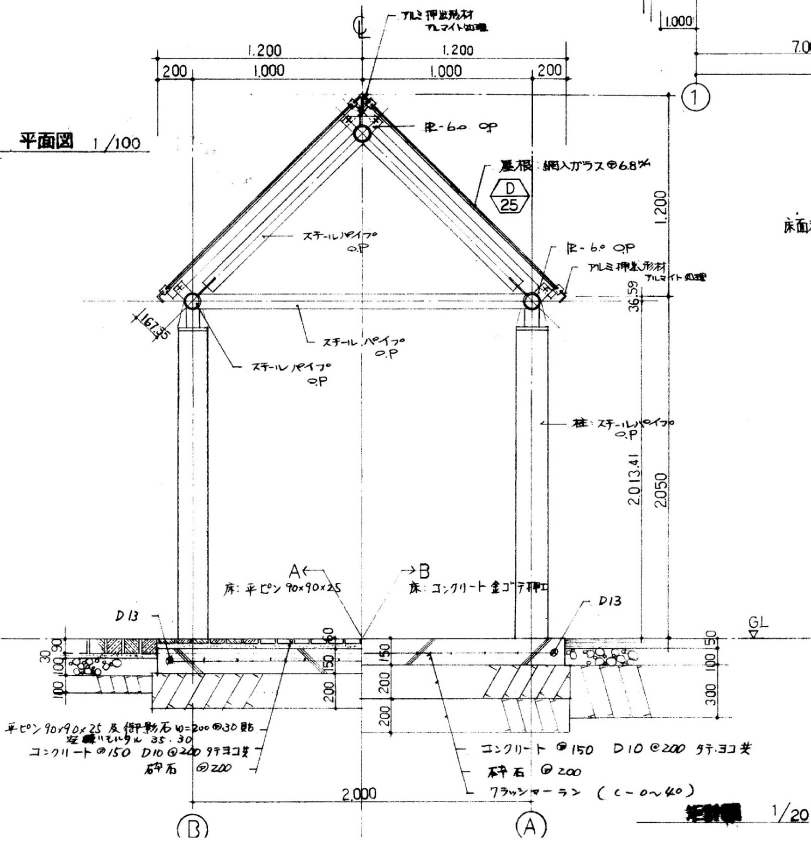
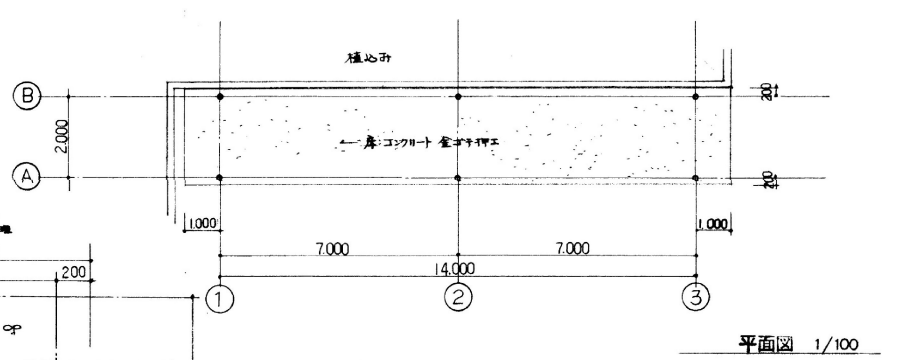
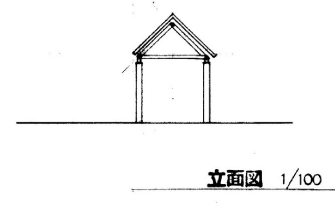
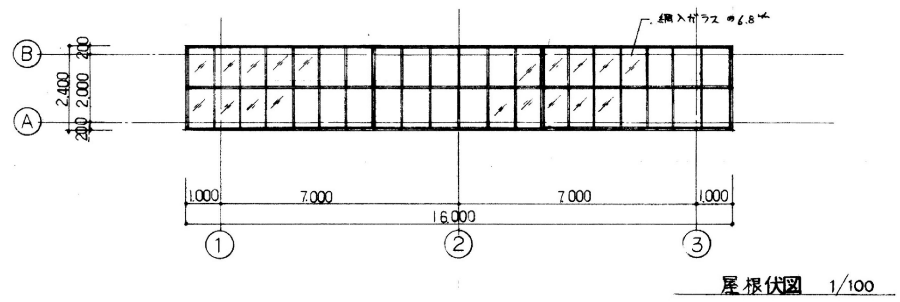
既存アスファルト舗装



基礎詳細図 1 : 2 0

参考

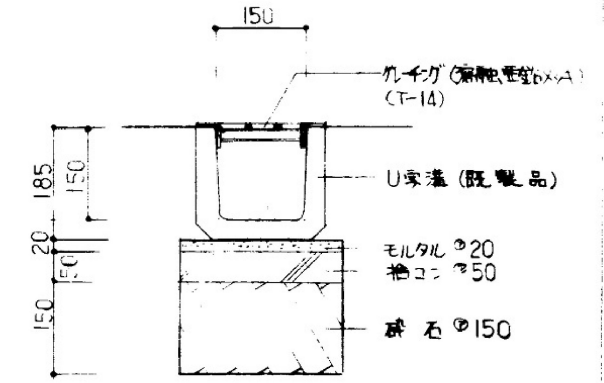
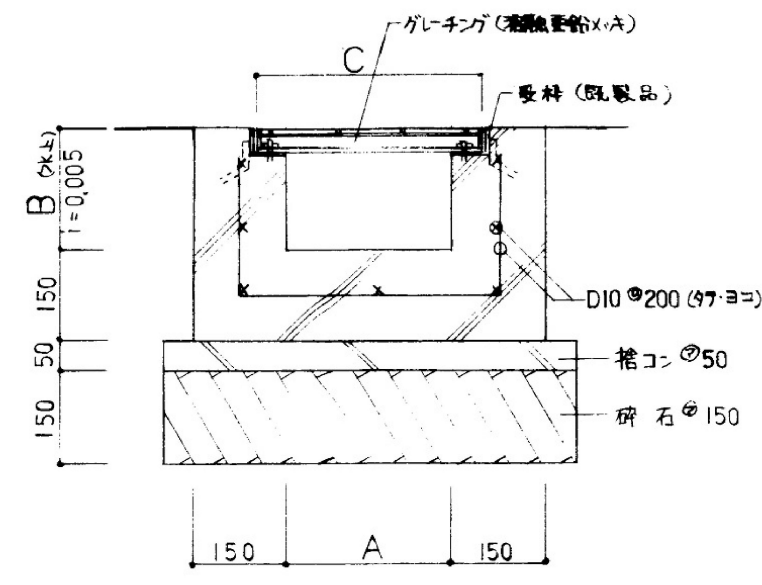
駐輪場 詳細図 (撤去)



名称 排水溝 グレーチング付 詳細図 (撤去)

	A	B	C	グレーチング
W=250	250	200	350	※
=250'	250	260	350	
=200	200	200	300	
=200'	200	150	300	

※非固定式
 ○グレーチングはカネソウ HSB T-14 シリーズ 同等品以上
 ※固定式
 ○グレーチングはカネソウ HSBL T-14 シリーズ 同等品以上
 ○受材はカネソウ L型 Bタイプ 同等品以上
 区分については 外構平面図 (No.5) 参照のこと。



駐輪場 サイン 詳細図 (撤去)

